

あなたと…

夏休み親子体験学習会 報告 7月31日

CAP (子どもへの暴力防止) プログラムを体験しよう

講師 CAPたんぽぽ・CAPユニット

CAPとは Child(子ども) Assault(暴力) Prevention(防止)の頭文字をとった教育プログラムです。子どもの学習会と別室での大人(保護者)の学習会がセットで提供されます。男女平等推進センターでは毎年、夏休み親子体験学習会として開催しており、今年も子ども10人、大人18人が参加しました。大人の学習会では、子どもの学習会の内容解説と大人の役割について学びました。その一部を要約してお伝えします。

「安心」「自信」「自由」の3つ権利

いじめ、誘拐、性暴力から子どもを守りたいと思っても、成長と共に子どもの行動範囲は広がり、親がいつもそばにいられるわけではありません。そのため、子ども自身が自分を守るための知識と方法を身に着けることがとても大切になります。子ども学習会ではまず、子どもには「安心」「自信」「自由」という3つの大切な権利があることに気づきます。



「いやだ」「逃げる」「話す(相談する)」

- ①「もし友だちから嫌なことをされたら…？」
- ②「もし知らない人に話しかけられたら…？」
- ③「もし誰かから自分の嫌だなと思うところを触られたら…？」

以上の3つの例はいずれも「子どもへの暴力」です。子どもが暴力にあうことは、「安心・自信・自由」の権利を奪われることです。そうならないように「いやだ・逃げる・話す(相談する)」ことで子ども自身が自分の身を守るよう、寸劇を見て体験します。

子どもの声に耳を傾ける

自分が一生懸命に話しているのに、相手が横を向いて別のことをしながら気のない返事しかしてくれないと悲しい気持ちになります。一方、目を見て相づちを打ちながらじっくりと聞いてもらうと、安心感に包まれスッキリします。子どもは、このような「共感的な聞き方」でじっくりと話を聞いてもらうだけで落ち着き、不安が和らぎ、元気を取り戻す場合もよくあります。また、子どもの落ち度を責めず、「良く話してくれたね」と言ってあげてください。日頃から子どもの様子を気にかけて、変化をキャッチし、「困っていることはない?」「大丈夫?」と声をかけ、いつでも相談できることを伝えておくことも大切です。

(文責 運営委員会)

参加者の感想

- ・CAPプログラムは「子どもの人権」を守るためというお話が印象的だった。
 - ・実際に劇を演じて下さったのでわかりやすかった。子どもとの関わりを見つめ直してみます。
 - ・親子で参加できたことに大きな意味があった。
 - ・自分で子どもに伝えるのは難しいと思うので、このような体験ができて良かった。子どもに今日のCAP体験がどうだったか聞いて、親子で話し合いたい。
- 以上

報 告

8月1日実施

子どもたちの生と性を考える
～あなたを大切にするために～

助産師 大田静香さんをお招きして、人に聞きづらい性に関すること、今どきの子どもたちの恋愛や、性に関するリアルな現状など、都内の学校で講座を行っている講師ならではの話を聞くことができました。

「性について、子供へのむき合い方のヒントがえられました。」「子育ての参考にしていきたいと思いました。」などの感想をいただきました。

お知らせ

10月17日、18日開催

女性のための
就職準備セミナー

就職を考えている女性や、初めて保育園に申込みする方を対象に、今後の就職活動に役立つ情報や、町田市 of 保育園の状況をご案内します。2日間の連続講座です。

9月18日正午から10月10日まで町田市イベントダイヤルまたはウェブ(イベシス)でお申込を受け付けています。

申込☎：724-5656

イベシスQRコードはこちら ⇒



シネマでトーク

素敵な映画をみて、あれこれ
楽しく話しませんか！ **無料**

場所：フォーラム3階 活動室
*10月8日(火) 14:00~82分
「アフガン零年」2003年(アフガニスタン・日本・アイルランド合作)

働き手を失った一家を支えるために少年になりすまして働く少女の恐怖を実話に則して描く。

*11月12日(火) 14:00~108分
「コンラック先生」1974年(米)
離れ小島にある黒人学校に白人教師がやってきた。音楽を通しての授業で子供たちとは通じたが、大人には反感を買う。実話にもとづいた学園ドラマ

*12月10日(火) 14:00~112分
「居酒屋」1956年(仏)
原作：エミール・ゾラ、監督：ルネ・クレマン、主演：マリア・シェル。下町に生きる洗濯女の人生行路を描く



蔵書の紹介

「ルポ 貧困女子」

飯島 裕子 岩波新書

【センターでは、図書の出借やDVD・ビデオの視聴ができます！】

少子化と女性活躍推進のかけ声の陰で女性達は男女差別、ブラック企業、非正規雇用、契約打ち切りによる職探し、低賃金に苦しんでいる。独身のアラフォー世代に丁寧聞き取りを重ねた一人一人の事例は子を持つ親にとっても考えさせられる。一度正職員をやめるとその多くはさまざま派遣にしかねない日本社会。高校生や大学生にも是非読んでほしい。待ち受けている現実を。(I)

「老人の取扱説明書」 平松 類 SB新書
著者・平松類氏が現役の眼科医として、診療で十万人以上の高齢者と接してきた経験に加え、国内外の膨大な医学論文やデータを読みあさって得た知識を総動員して「老化の正体」をまとめています。老人の困った行動の多くは、老化による体の変化。老化すると味覚が落ちて塩分は「十二倍」ないと若い頃と同じに感じない等。これらに対する解決策も本書で取り上げています。老人、非老人にも役に立つ本だと思えます。(K)

「女性悩みごと相談」 電話番号：042-721-4842

☆女性のための身近な相談室として、電話による相談を受けています。DVやセクハラ、夫婦間問題、LGBTなど一人で悩まないで相談してみませんか。

相談時間…月・火・木・金・土曜日 9:30~16:00
水(第3水曜日を除く) 13:00~20:00
(日・祝日、年末年始はお休みです)



「法律相談」 予約は「女性悩みごと相談」にて受け付けます。

☆女性弁護士が担当します。

相談日：毎月第2・第4 木曜日 14:00~16:00

※祝日の場合はお休みです。

